











板橋区の景況




これは、平成21年3月中旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先の3ヵ月間（平成21年4～6月期）の予想をまとめたものです。




平成21年1～3月期




調査対象 製造業120社 小売業91社
 サービス業68社 建設業67社
 調査方法 面接聴取
 調査機関 (社) 東京都信用金庫協会
 分析・作成 (株) 帝国データバンク

							
	好調 ←			普通		→ 不調	
製造業	20以上	19～10	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31以下
小売業	10以上	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31～△40	△41以下
サービス業	15以上	14～5	4～△5	△6～△15	△16～△25	△26～△35	△36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31以下

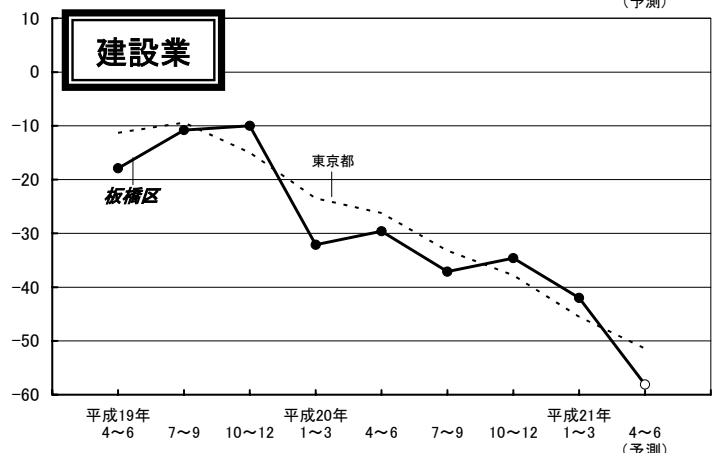
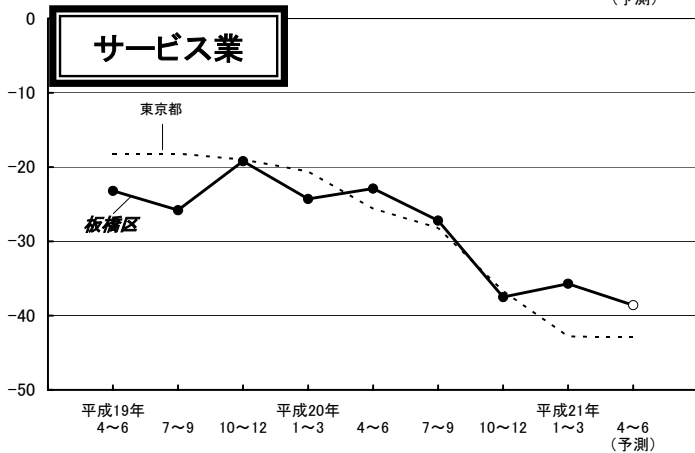
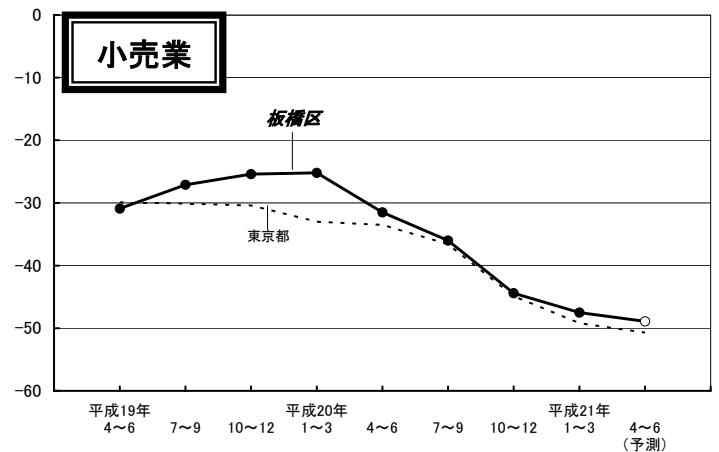
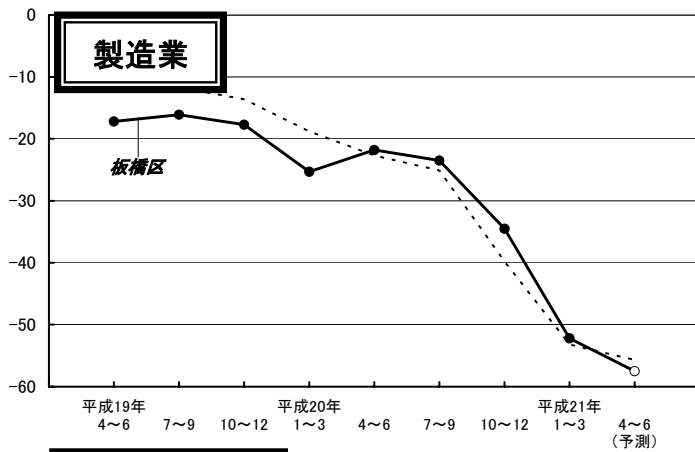
製 造 業	前期		業況は、前期より17ポイント減の-52と大きく悪化した。売上額は-51で14ポイント減、収益は-47で6ポイント減となり、ともに悪化した。価格動向については、原材料価格は13ポイント減の21とさらに低下したほか、販売価格は11ポイント減の-19と下降を強めた。資金繰りは2ポイント増加したものの-24と前期同様の厳しさであった。借入難易度は4ポイント増の-2と窮屈感が緩和した。
	今期		
	来期		

小 売 業	前期		業況は、前期より4ポイント減の-48となり厳しさを増した。売上額は、2ポイント減の-48、収益も5ポイント減の-49となり、ともにマイナス傾向が続いた。価格動向については、販売価格は前期並みの-3と横ばいで推移したが、仕入価格は16ポイント減の8と上昇が弱まり厳しさが和らいだ。資金繰りは3ポイント増の-26、借入難易度は1ポイント増の1と若干ながら改善された。
	今期		
	来期		

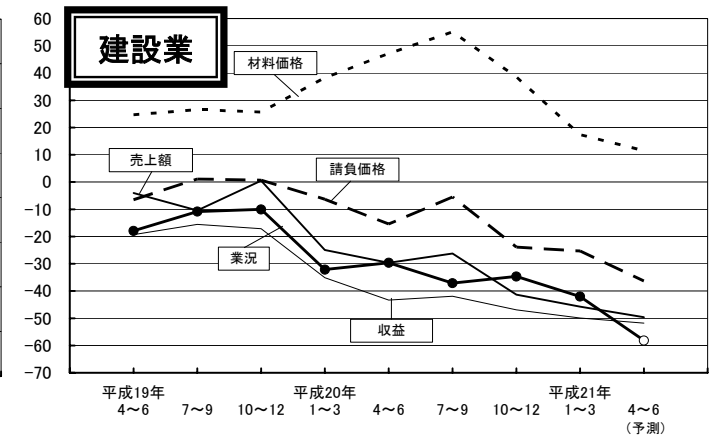
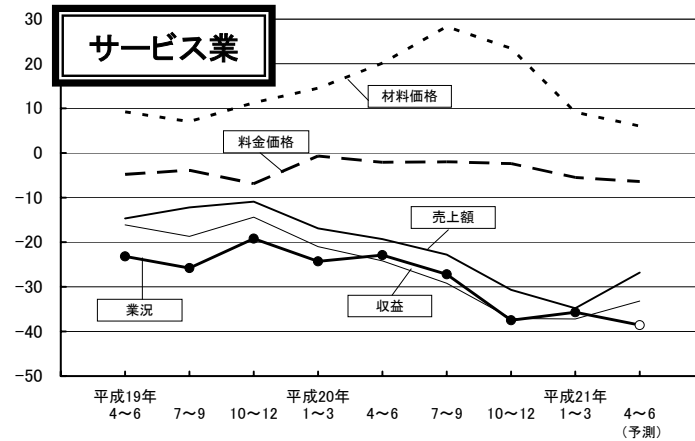
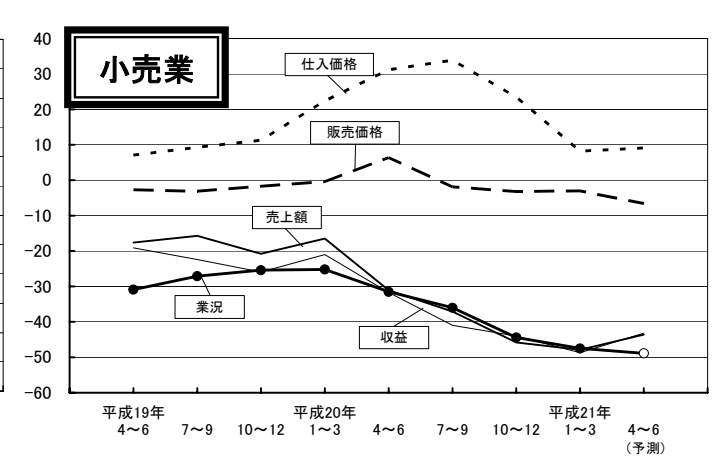
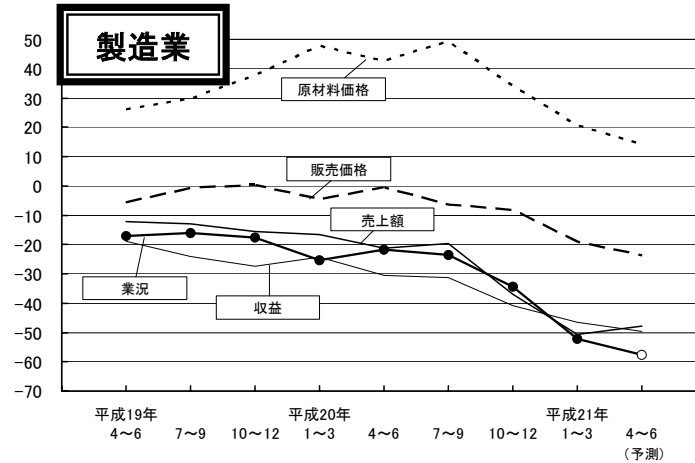
サ ー ビ ス 業	前期		業況は、前期より2ポイント増の-36と前期並みの厳しさを推移した。売上額は4ポイント減の-35、収益は前期並みの-37となり、前期同様の厳しさであった。価格動向については、料金価格は-6と4ポイント減少したものの、材料価格は9と14ポイント減少し落ち着きを見せた。資金繰りは、7ポイント増加し-19と窮屈感が緩和した。借入難易度は1ポイント減少し-9と、前期同様の厳しさを推移した。
	今期		
	来期		

建 設 業	前期		業況は、前期より7ポイント減の-42と悪化傾向が強まった。売上額は5ポイント減の-46、収益は3ポイント減の-50となり、ともに低迷した。価格動向については、請負価格は1ポイント減の-25と低迷したものの、材料価格は22ポイント減の17と上昇が弱まった。資金繰りは1ポイント増の-27と、前期同様の厳しさを推移した。借入難易度は6ポイント減の-15と、厳しさが増した。
	今期		
	来期		

板橋区と全都の業況の動き(実績)と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き(実績)と来期の予測



板橋区 業種別 経営上の問題点

	製造業	小売業	サービス業	建設業
第1位	売上の停滞・減少 63 %	売上の停滞・減少 58 %	売上の停滞・減少 57 %	売上の停滞・減少 64 %
第2位	同業者間の競争の激化 40 %	大型店との競争の激化 35 %	同業者間の競争の激化 53 %	利幅の縮小 42 %
第3位	利幅の縮小 37 %	商店街の集客力の低下 29 %	利幅の縮小 28 %	同業者間の競争の激化 40 %
第4位	原材料高 28 %	同業者間の競争の激化 23 %	取引先の減少 10 %	材料価格の上昇 27 %
第5位	販売納入先の値下要請 13 %	利幅の縮小 19 %	大企業との競争の激化 9 %	大手企業との競争激化 13 %

板橋区 業種別 重点経営施策

	製造業	小売業	サービス業	建設業
第1位	経費を節減する 73 %	経費を節減する 46 %	経費を節減する 53 %	販路を広げる 66 %
第2位	販路を広げる 58 %	品揃えを改善する 32 %	販路を広げる 50 %	経費を節減する 61 %
第3位	新製品・技術を開発する 20 %	売れ筋商品を取扱う 30 %	宣伝・広告を強化する 25 %	情報力を強化する 34 %
第4位	提携先を見つける 13 %	宣伝・広告を強化する 24 %	教育訓練を強化する 9 % 人材を確保する 9 %	技術力を高める 16 %
第5位	情報力を強化する 11 %	商店街事業を活性化 18 %	提携先を見つける 7 % 技術力を強化する 7 %	人材を確保する 9 %

東京都の景況

< 製造業 >

原材料価格は極端に上昇幅が縮小し、販売価格はさらに下降を強めた。売上額・受注額・収益はそれぞれ大幅に低迷し、業況も過去最低の数値となった。来期は、売上額・受注額・収益が今期並の減少で推移し、業況はさらに深刻さを増すものと予測している。

< 小売業 >

業況は一段と深刻化し、平成15年7-9月期の水準まで落込んだ。売上額はまた一步停滞感を強め、収益も更に圧迫され、大変厳しい数値を表している。価格面では仕入価格の上昇が弱まり落ち着きを見せ始めているものの、販売価格は更に下降を強めている。来期は、売上額・収益が小幅ながら減少が縮小するものの、依然として業況改善の兆しは見え、今期並の大変厳しい状況が続くと予想している。

< サービス業 >

材料価格は上昇幅が縮小したものの、料金価格はさらに下降幅が拡大している。売上額・収益はともに更に悪化し、業況感も大きく落込んだ。来期は収益が水面下ながらやや上向くと予想している。一方、売上額は今期同様の減少幅で推移し業況も今期並の悪化幅で推移するものと見通している。

< 建設業 >

業況が「悪い」と回答した企業は54%にのぼり、更に厳しさが強まっている。売上額・受注額・施工高・収益のいずれも減少した企業が本指標をとり始めた平成2年以降初めて過半数にのぼり、深刻な状況となっている。材料価格は上昇が大きく弱まったものの、請負価格は更に下降が強まっている。来期は、業況が悪いと予想する企業が6割近くに上り、売上・収益とも過半数が減少を予想しており、厳しい状況が続く見通しである。

特別調査「平成20年度の決算状況等について」

問1 売上額の増減とその要因について

	売上額			売上額への影響				
	増加	ほぼ横ばい	減少	販売数量の増加	販売数量の減少	販売単価の上昇	販売単価の下降	販売数量・単価とも変化なし
全体	6.0	30.9	62.8	9.7	59.1	2.5	8.0	18.0
業種								
製造業	9.2	26.1	63.9	12.6	64.7		8.4	13.4
小売業	2.2	37.4	60.4	4.4	64.8		5.5	24.2
サービス業	5.9	35.3	58.8	10.3	52.9	4.4	4.4	20.6
建設業	6.0	28.4	65.7	11.9	53.7	1.5	10.4	19.4

問2 粗利(売上総利益)・当期利益

	粗利(売上総利益)					当期利益				
	増加	ほぼ横ばい	減少	赤字転換、赤字の継続	分からない、把握していない	増加	ほぼ横ばい	減少	赤字転換、赤字の継続	分からない、把握していない
全体	5.0	26.4	48.4	15.5	4.7	5.0	25.2	43.6	20.7	5.0
業種										
製造業	8.4	23.5	48.7	15.1	4.2	8.4	23.5	41.2	22.7	4.2
小売業	2.2	30.8	48.4	13.2	5.5	1.1	29.7	48.4	15.4	5.5
サービス業	2.9	32.4	44.1	13.2	7.4	4.4	30.9	41.2	16.2	5.9
建設業	4.5	26.9	44.8	23.9		4.5	23.9	35.8	34.3	1.5

問3 利益面の増減に影響を及ぼす要因

	販売金額(単価×数量)の増減	仕入金額(単価×数量)の増減	人件費の増減	減価償却費の増減	その他の経費の増減	金融費用負担の増減	臨時的要因(資産売却益、災害損失など)	その他
全体	77.5	28.4	8.9	1.8	23.0	6.3	1.3	5.6
業種								
製造業	87.4	36.1	12.6	4.2	25.2	7.6	1.7	1.7
小売業	69.2	22.0	7.7	1.1	14.3	3.3		8.8
サービス業	62.7	17.9	7.5	1.5	25.4	6.0	1.5	9.0
建設業	84.6	27.7	10.8		20.0	4.6	1.5	3.1

問4 円高による決算への影響

	良い影響を受けている	やや良い影響を受けている	今後良い影響が考えられる	影響はない	悪い影響を受けている	やや悪い影響を受けている	今後悪い影響が考えられる
全体	0.3	1.5	1.3	63.3	16.1	12.6	5.0
業種							
製造業		1.7	0.9	47.0	23.9	17.9	8.5
小売業			2.2	73.6	6.6	12.1	5.5
サービス業				83.8	10.3	4.4	1.5
建設業	1.5	3.0	1.5	59.7	19.4	10.4	4.5

問5 今後の人員計画

	正社員を増やす	パート・アルバイトを増やす	派遣社員を増やす	現状の人員は維持する	正社員を減らす	パート・アルバイトを減らす	派遣社員を減らす	未定
全体	1.8	1.8		74.4	3.8	3.0	0.3	15.0
業種								
製造業	3.4	1.7		69.7	7.6	5.0	0.8	11.8
小売業	1.1			76.9		3.3		18.7
サービス業	1.5	4.5		80.6				13.4
建設業	1.5	1.5		71.6	6.0	3.0		16.4

この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

(財)板橋区中小企業振興公社

TEL: 03(3579)2175 FAX: 03(3963)6441 HP: <http://www.itabashi.or.jp>